

阿南市文化祭優秀作品表彰

第39回阿南市文化祭優秀作品表彰式が12月12日、夢ホールで行われ、次の方々が受賞されました。

■寒蘭の部

- 【市長賞】喜多條隆治（桑野町）
- 【議長賞】佐野哲也（山口町）
- 【教育長賞】秦野一三（下大野町）

■俳句の部

- 【市長賞】島 玲子（富岡町）
- 【議長賞】淡島春海（福村町）
- 【教育長賞】宮繁ただし（西路見町）

■短歌の部

- 【市長賞】湯浅久枝（楠根町）
- 【議長賞】井上正恵（新野町）
- 【教育長賞】河野茂美（大井町）

■学童展

科学経験発表の部（1～4年）

- 【市長賞】駕原泰輝（見能林小）
- 【教育長賞】山田智暉（宝田小）
- 【教育研究所長賞】鎌田珠希（桑野小）

科学経験発表の部（5、6年）

- 【市長賞】久米鷹之（新野小）
- 【教育長賞】廣浦正樹（橘小）
- 【科学体験発表の部（中学生）】

【市長賞】原 愛紗、根本日和、伊丹菜月、尾川真里奈（富岡東中）

【教育長賞】戎谷紫都華、佐野響子、豊栖麻鈴（富岡東中）

【教育研究所長賞】阿部光彦、新谷拓也、福田陸雄（阿南第二中）

※敬称は省略させていただきました。

— 国益とは平和 —

新年明けましておめでとうございます。今年こそ揺らぎのない安定した年になりますよう祈らざるを得ません。

今、我が国の外交が揺らいでいます。私は昨年未、長年にわたりご指導をいただいております藤井裕久元財務大臣の講演を聴く機会を得ました。

藤井先生は外交・内政両面での持論を展開されました。外交については「国益が大事であり、国益とは平和。そのために政治家は歴史をもっと勉強してほしい。」と強調されました。まさに炯眼だと思いました。

中国人は1000年、ロシア人は1世紀（100年）、ヨーロッパ人は1世代、アメリカ人は10年単位でものを考えるという説がありますが、平和を保つことは人間に属する血みどろの作業だとするならば、私たち日本人は、特に政治家はもっともつと外の国をその歴史を含めて知る必要があると思えます。

元台湾総統として現実外交を展開し、現在の台湾の経済発展をもたらした、一流の政治家と評される李登輝はこう言っています。「政治家が心なくではならないのは問題に直面したとき決して直線で考えないことだ。最短距離を見つけようとしてはならない。目的地への直線を引くことをやめて、必ず迂回すること、むしろ回り道を見つけたらと努めるべき

— 市長通信 —

お元気ですか

阿南市長 岩 浅 嘉 仁



なのである。直接的であることを避け、間接的なものの考え方を選ぶ重要性は、政治はもとより、経済、社会問題において当てはまる。直接にアプローチすることでかえって時間がかかるだけでなく、目標を達成できないことも多いのである。」と。大変示唆にとんだ言葉だと思えます。

最後に有名なジョークをご紹介します。北朝鮮の核問題をめぐる6カ国協議で日本の首席代表がトイシに立つと、他の5カ国代表が日本のお人よしぶりを話題にしました。

韓国代表「日本は不思議な国だ。独島（日本名・竹島）を領有し、歴史問題でことごとく難癖をつけても挑発に乗ってこない。」

中国代表「同感だ。反日暴動を起こし、漁船を領海侵犯させても日本は怒らない。」

北朝鮮代表「その通りだ。日本人を拉致し、偽札を流し、テポドンを上空通過させても、日本は反撃してこない。」

ロシア代表「まったくだ。北方領土の不法占拠を続けても、日本は本気で返還を要求してこない。核兵器でも使わないと怒らないのではないか。」

米国代表「それはもう試してみたい。」笑えないジョークです。

私は日本はベトナム及びインドともつとむつと絆を深めるべきだと考えています。日本の国会議員は、日中、日韓、日中等々多くの国と友好議員連盟を作っています。党派を越えて、もつと汗をかいていただきたいと思えます。